

# 労働図書館新着情報

今月の10冊(日本十進分類[NDC]順に掲載)

<p>①山田昌弘著『なぜ若者は保守化するのか』東洋経済新報社(239頁,B6判) 『週刊東洋経済』に連載されたコラムに、書き下ろしの序論を付加。既得権にあずかれない閉塞感と努力が報われない絶望感に多くの若者がさいなまれているが、新卒一括採用、正規・非正規格差等の社会制度に変化が見られないことに著者は危機感をいだきつ、今後10年間の改革の可能性にかすかな望みを託している。</p>	<p>⑥林祐司著『正社員就職とマッチング・システム』法律文化社(vi+175頁,A5判) 「失われた10年」の真ったた中の世代の著者が、平成不況期においても正社員就職が可能であったマッチング・システムを追求。正規雇用の人材形成との関連、政府の若年労働政策を整理・考察するとともに、大学キャリアセンターを通じた正社員就職、正社員への登用事例を分析。博士学位請求論文に加筆・修正した著。</p>
<p>②山西均著『大企業サラリーマン生き方の研究』日本経済新聞出版社(308頁,A5判) 著者は、大手証券会社中堅社員。日本の終身雇用制大企業勤務の30歳以上の中堅社員の現実の世界(経済的側面)と主観の世界(理念)を長期債券・債務関係、人的資産等の会計用語で考察。経済的に自立し、理念を実現させ、個として強く生きることが主張。実験に裏打ちされた生き方・働き方は思考実験として興味深い。</p>	<p>⑦長島正治著『労働移動の開発経済分析』勁草書房(vii+246頁,A5判) 本書は経済発展の古典、賃金率格差による国内労働移動やインフォーマルセクターの発生を説明するハリス・ストダロー・モデルの理論的系譜を詳説。既存の説に違和感を覚えた著者の10年以上に渡る研究成果、共同研究が盛んだが、理論研究だからこそ可能な個人研究の典型であろう。妥当性判断は、読者に委ねられる。</p>
<p>③宮本太郎著『生活保障』岩波書店(xiii+228+6頁,新書判) 不安定雇用の蔓延や年金不信等から、多くの日本国民が生活不安に悩んでいる。本書は北欧の福祉国家やベーシック・インカム論等を参考に、雇用と社会保障が連携した生活保障と連帯に基づく社会的排除の克服を模索。官僚主義体制でも構造改革路線でもない新しい社会のあり方を追求する骨太の議論が展開されている。</p>	<p>⑧藤内和公著『ドイツの従業員代表制と法』法律文化社(xvi+482頁,A5判) 組織率低下に伴い、労働者の意見をいかに吸い上げるかは、労使関係の安定のみならず、企業の生産性向上にとっても致命的な課題である。著者20年来の研究成果である本文475頁に渡る本書は、総論、制度、運用、ドイツ法の意義、の4部構成。多様な労働者の意見調整制度は、組合が従業員代表かを判断する材料を提供。</p>
<p>④宮島洋他編『企業と労働』東京大学出版会(xi+300頁,A5判) 社会保障と経済社会の関係を総合的に分析した「社会保障と経済」シリーズ全3巻の第一巻。3人の編者の他に、各々の巻に編集協力者をおくという珍しい編集体制をとっている。本巻は全3巻の議論のベースを提供するとともに、社会保障と企業・労働との関係というユニークなテーマを14人の専門研究者が追究している。</p>	<p>⑨中西新太郎他編『ノンエリート青年の社会空間』大月書店(vi+403頁,B6判) 「青年・労働問題研究会」に所属する研究者の3年間の活動の成果。個々の論文は独立性を保ちながらも、著書としては統一性をもったものとなることを目指しているという。ノンエリート青年が大人になることの困難性を中核的問題として設定し、学際的に分析。豊富な事例研究や長期の参与観察の成果も含む書である。</p>
<p>⑤水町勇一郎他編『労働法改革』日本経済新聞出版社(271頁,A5判) 連合総研主宰研究会の2年間の活動成果。歴史研究と最先端の理論に基づき、編者が労働法改革の理念を描き、労使関係法制等5つの分野の労働法改革の全体像を提示。これに対して研究参加者が比較法、政策研究、経済学、実務の視点から、批判も含めて考察。目指しているのは、「参加による公正・効率社会の実現」である。</p>	<p>⑩本田由紀著『教育の職業的意義』筑摩書房(224頁,新書判) 過酷な労働市場・職場環境の中で叫ぶ若者に、「適応と抵抗」「柔軟な専門性」をキー・コンセプトに助言。教育の職業的意義を力説しているが、教育と社会とを架橋する責任を果たそうとする著者の鬼気迫る思いが伝わってくる図書。世の中が著者のような人たちが構成されていれば、「抵抗」の手段は必要ないであろう。</p>

## 主な受け入れ図書

(2010年1月—2月労働図書館受け入れ)

①弓ひろ著『無理しないほうがうまくいくなチュラール・キャリア実践術』朝日新聞出版(235頁,B5判)	②城繁幸著『7割は課長にさえなれません』PHP研究所(215頁,新書判)
②内閣府大臣官房政府広報室編『基本的法制度に関する世論調査』内閣府大臣官房政府広報室(175頁,A4判)	②土屋竜一著『日本でいちばん働きやすい会社』中経出版(221頁,B6判)
③シドニー・デッカー著『ヒューマンエラーは裁けるか』東京大学出版会(xix+254+viii頁,B6判)	⑦梅永雄二編著『仕事がしたい! 発達障害がある人の「就労相談」』明石書店(251頁,A5判)
④日本弁護士連合会ADRセンター編『紛争解決手段としてのADR』弘文堂(v+261頁,A5判)	⑧矢沢澄子他編『女性とライフキャリア』勁草書房(xiv+256+viii頁,B6判)
⑤千田亮吉他編著『行動経済学の理論と実証』勁草書房(xv+338頁,A5判)	⑨UFJ総合研究所編『資金マネジメント 2010年度版』UFJ総合研究所(195頁,B5判)
⑥早稲田大学産業経営研究所編『新興市場と日本の成長戦略』早稲田大学産業経営研究所(128頁,A4判)	⑩ILO編著『世界給与・賃金レポート—1灯舎(x+100頁,B5判)』
⑦寺西重郎編『構造問題と規制緩和』慶應義塾大学出版会(xxx+389頁,A5判)	①国鉄作家集団編『国鉄作家集団創立50周年記念作品集—アーク(350頁,B6判)』
⑧松谷明彦著『「人口減少経済」の新しい公式』日本経済新聞出版社(304頁,文庫判)	②増田明利著『今日から日雇い労働者になった』彩図社(189頁,B6判)
⑨吉田忠則著『見えざる隣人』日本経済新聞出版社(263頁,B6判)	③日本総合愛育研究所編『日本子ども資料年鑑』中央出版(397頁,B5判)
⑩宮島洋他編『財政と所得保障』東京大学出版会(xii+294頁,A5判)	④松田茂樹他著『揺らぐ子育て基盤』勁草書房(vii+222頁,A5判)
⑪久本憲夫編著『労使コミュニケーション』ミネルヴァ書房(vii+306頁,A5判)	⑤猪木徳著『大学の反省』NTT出版(316頁,B6判)
⑫岩出誠著『実務労働法講義 第3版』民事法研究会(上巻=60+787+66頁,下巻=62+824頁,A5判)	⑥松塚ゆかり他編『留学生教育を支える基盤—一橋大学大学教育研究開発センター(153頁,A4判)』
⑬伊藤博義著『雇用形態の多様化と労働法 新版』慈学社出版(xi+406頁,A5判)	⑦日本看護協会編『潜在看護職員の就業に関する報告書 平成20年度版』日本看護協会中央ナースセンター(225頁,A4判)
⑭青葉ビジネスコンサルティング編著『日本企業のための中国労働法』蒼蒼社(823頁,A5判)	⑧月刊コンピューターテレフォニー編集部編『コールセンター白書 2009年版』リクテレコム(231頁,A4判)

### 「データベース(DB)まとめて検索」のご案内

当館では、文献関係の3つのDB(論文・調査研究成果・蔵書DB)をまとめて検索するシステムを導入いたしました。  
下記URLからご利用ください。  
URL = <http://oudan.jil.go.jp/>

### 労働図書館(資料センター)

当図書館は、社会科学関係書を中心に和書108,000冊、洋書27,000冊、和洋の製本雑誌21,000冊を所蔵している労働関係の専門図書館です。  
労働関係の分野には、労働法、労働経済、労働運動、雇用職業、女性労働、パート派遣、高齢者労働、障害者労働、外国人労働、社会福祉などがあり、これらで、蔵書の半数以上を占めています。その他にも、経済書をはじめ経営学、心理学、教育学、社会学など関係分野に及んでいます。また、和雑誌(460種)、洋雑誌(170種)、紀要(560種)、組合機関誌・紙を受け入れています。

特色としては、厚生労働省をはじめとする官公庁発行の統計類などの逐次刊行物、日本経団連など経営者団体の刊行物や民間研究機関刊行物、社史があり、労働組合に関しては、労働運動史、ナショナルセンターや産業別組合の大会資料などを継続的に収集しています。洋書については、特にILO(国際労働機関)総会の議事録やOECD(経済協力開発機構)の刊行物、各国政府の労働統計書などを収集して閲覧に供しています。特殊コレクションとしては、戦前・戦後を通して労働組合の歴史的に貴重な原資料を収集、保管しています。

開館時間：9:30～17:00  
休館日：土曜日、日曜日、国民の祝日、年末年始(12月28日～1月4日)、その他  
電話番号：03(5991)5032 / FAX：03(5991)5659  
利用資格：どなたでも自由に利用できます  
貸出：和書・洋書とも2週間、5冊までです  
※身分証明書(運転免許証、健康保険証など)をお持ちください  
レファレンスサービス：図書資料の所在調査などのサービスを行っています